# 「理科（化学)」の出題の意図

**[出題の意図]**

化学は、私たちの身の回りに存在する様々な物質の構造や性質についての法則性や多様性を学ぶ教科であり、科学分野全般の基盤となることから「セントラルサイエンス」と呼ばれることもあります。物質の構造や振る舞いを理解するためには、化学に関する基礎的知識を習得し、それらに基づいて論理的に考察する力を養うことが重要です。本年度の化学の出題では、下記の三つの大問を通じて、化学に関する基礎的な理解力と論理的な思考力を問うことを意図しました。

第１問

物質の状態とその変化が関わるさまざまな現象やそれを用いた実験技術について、その背後にある原子間の結合や分子間に働く力といった化学の基本的な項目に基づいて理解できているか、また、論理的に考察、説明できるかを問うことを意図しています。

第２問

無機化学に関する様々な項目(無機物質の性質、酸化還元、化学平衡、分子構造)に関する基礎的な理解力と、与えられた情報をもとに現象の本質を見抜く力、論理的かつ総合的に考察する力を問うことを意図しています。

第３問

医薬品などとして広く活用されるペプチドを題材に、化学実験の過程や分子の構造を論理的に考察する力、分子の構造や性質を立体的に考察する力など、幅広い能力を問うことを意図しています。

**[選択式問題の解答例]**

第１問

オ　(A)–(3), (B)–(3)

第２問

イ（あ）

第３問

ア　(4), (7)